

# 柔道競技大会実施要項

1. **大会名** 第60回筑紫区中学校柔道競技大会
2. **期 日** 平成29年7月8日（土曜日）
3. **会 場** 太宰府東中学校 体育館1階 柔道場
4. **参 加 校** 大野中学校 平野中学校 御陵中学校 二日市中学校 天拝中学校  
春日中学校 春日東中学校 春日西中学校 春日野中学校 春日南中学校  
学業院中学校 太宰府西中学校 那珂川南中学校 計13校

## 5. 参加資格

- (1) 筑紫区紫区中学校体育連盟規約『大会出場資格』による
- (2) 団体は男女とも各校1チームとする。（男子 選手5名 補欠2名 監督1名）（女子 選手3名 補欠1名 監督1名）
- (3) 男子個人は次の階級で行う。50kg級 55kg級 60kg級 66kg級 73kg級 81kg級 90kg級 90kg超級  
女子個人は次の階級で行う。40kg級 44kg級 48kg級 52kg級 57kg級 63kg級 70kg級 70kg超級  
個人戦の出場者は、参加申込をした階級の体重の範囲に入っておくこと。  
例えば、男子60kg級の出場者は、必ず、当日朝の計量で、体重が55kgを越えていて60kg以下となっていること。

6. **開始時間** 開場 8:00 集合・受付 8:30 計量 8:35~9:00  
監督・審判会議 9:00 開会式 9:10 試合開始 9:30

## 7. 競技方法

### 【団体戦】

- (1) 参加チーム数によって、専門部会で協議し、組み合わせを決定する。  
（3~5チームならばリーグ、6チーム以上ならばトーナメントを基本とする。）
- (2) チーム間の勝敗の決定は下記の通りとする
- ①勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ②①で同等の場合は、「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者の多い学校を勝ちとする。
- ③②で同等の場合は、「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ④③で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ⑤④で同等の場合は、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。  
なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。
- (3) リーグ戦の順位は次のとおりとする。
- ①例：3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。
- ②①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多い学校を上位とする。
- ③②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ④③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ⑤④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ⑥⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ない学校を上位とする。
- ⑦⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ない学校を上位とする。
- ⑧⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ない学校を上位とする。
- ⑨⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ない学校を上位とする。
- ⑩⑨で同等の場合は、代表戦（1名）による順位決定戦を行う。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。

### 【個人戦】

- (1) トーナメント形式によって行う。ただしその階級の参加選手が3人の場合、リーグ戦を採用する。
- (2) 得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。

## 8. 競技規則

- (1) 国際柔道連盟審判規定(2017年施行の新ルール)、「少年大会申し合わせ事項」および本大会の申し合わせ事項による。
- (2) 勝敗の判断基準は、団体戦においては、「一本」「技有」または、「僅差(指導の差2以上)」とする。  
個人戦においては、「一本」または「技有」以上とする。
- (3) 代表戦の判定基準は団体戦と同様にするが、3分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は、個人戦と同様にする。
- (4) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。  
「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「僅差」
- (5) 試合時間は、個人戦、団体戦ともに3分とし、延長戦は無制限とする。
- (6) 競技規則に問題が起きたときは、専門部会で協議する。
- (7) チーム編成(オーダー)は体重順とし、一番軽いものが先鋒、一番重いものが大将とする。なお、補欠の選手を入れる場合も体重順になるようにする。(体重が同じときは、新たに入るものが先鋒に近い方とする。)
  - ①試合は、選手5名(女子3名)の対抗戦とする。オーダーの変更は認めない。  
尚、当日の軽量で順番が入れ替わることがある。
  - ②一度退いた選手は、再出場することはできない。
  - ③選手名簿提出後のオーダーの変更は認めない。もし、選手及び補欠が事故等のために変更する場合は、大会開始前において、学校長の職印を押した届けをもって、これを認める。※補欠選手の補充を行う。
  - ④補欠が全員出場してなおかつ事故があった場合には、欠員のまま試合を行う。(選手は大將側から詰めて並べる)
- (8) 柔道着の色は白色とし、女子の黒帯は、白線入りも可とする。
- (9) 柔道着にゼッケンを使用して試合をする。(学校名・名字入り)
  - ①布地は白色とし、サイズは横30~35cm、縦25~30cmとする。
  - ②名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
  - ③書体は太字ゴシック体とする。(明朝または楷書でもよい)
  - ④文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
  - ⑤襟から5cm~10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- (10) 女子は、上衣の下の部分に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。  
(全日本柔道連盟が定める規定・平成25年4月1日より施行)

## 9. 申し合わせ事項

- ・個人戦は、各階級の選手を記入する際、実力順に強い生徒から書く。
- ・中学校名以外のネームが入った柔道着は、使用しない。(柔道教室名など)
- ・個人戦出場者数に、各校の出場制限数を設けないが、受け身など柔道の基本的技量が不十分な生徒は、安全確保のため、出場させない事。
- ・団体戦には、男子3名、女子2名以上で出場できる。  
なお、大会途中にケガ等で上記の人数を満たさない場合、トーナメント戦では棄権することになるが、リーグ戦の場合、のこる人数でリーグ戦を続けるものとする。(リーグ戦では、勝ち点計算の関係上)
- ・監督およびコーチは、審判に準じた服装とし、マナーを守って指導に当たること。

## 10. 専門部長

西田 泰章(平野中学校 〒816-0962 大野城市つつじヶ丘4-1-1 TEL 596-6501 Fax 596-9778)  
大会当日 緊急時の連絡先 太宰府東中学校 TEL 921-3231

## 11. 大会役員

**審判員** 細田 貴義(二日市) 吉原 大輔(平野) 他 外部審判員

**競技役員** 西田 泰章(平野) 菅 啓太(大野) 川村 舟(大野) 片山 眞佐子(御陵)

武藤 正司(春日) 谷口 功(春日東) 今泉 翔太(春日西) 三宅 健児(春日西)

鶴崎 真由美(春日南) 伊東 説子(春日野) 秋吉 文(二日市) 鎌田 恭子(天拝)

越智 正子(学院院) 足立 止(太宰府西) 南園 雅人(那珂川南) 檜木 真由美(那珂川南)

## 12. 表彰

団体・個人とも、3位までを表彰する。(筑前地区大会の出場権は本大会の団体3位、個人3位まで)

## 13. 出場申し込み

**6月21日(水)**までに、規定の用紙に書き込み、校長職印を押し、平野中の西田まで提出する。

(6/21必着。FAX可(Fax 596-9778)。期日に間に合わなかったら、棄権したものと見なします。)

## 14. 組み合わせ

6/30(金)の専門部会で組み合わせを決定する。

**筑前大会の申し込み書は、筑紫区大会の終了後回収します。職印を押し、ご持参下さい。**

